



2020年6月2日

各 位

会社名 株式会社ハークスレイ
 代表者名 代表取締役会長 青木 達也
 (コード番号: 7561 東証一部)
 問合せ先 管理本部経理部部長 遊上 利之
 T E L 0 6 (6 3 7 6) 8 0 8 8

2021年3月期通期連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2020年5月13日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2021年3月期の業績予想の開示を一時見合わせておりましたが、このたび2021年3月期の通期連結業績予想の作成が可能となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1)2021年3月期第2四半期連結業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日) (単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—円—銭
今回修正予想(B)	17,000	140	540	270	28円71銭
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	23,743	466	621	487	51円88銭

(2)2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日) (単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—円—銭
今回修正予想(B)	41,000	730	1,230	740	78円70銭
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	47,382	944	1,244	1,276	135円72銭

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、前連結会計年度を下回る見込となりました。

営業利益につきましては、売上高の減少に伴い減少いたしますが、経常利益は業務効率化による営業外費用の削減などの体質強化により前年実績並みとなり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては前期発生いたしました固定資産売却益の計上差額により下回る見込となりました。

この結果、2021年3月期の通期連結業績予想として、売上高410億円、営業利益7億3千万円、経常利益12億3千万円、及び親会社株主に帰属する当期純利益7億4千万円を見込んでおります。

2. 公表の理由

当社が2020年5月13日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響など未確定な要素が多いため、業績予想の公表を見合わせておりました。2020年5月25日に政府により緊急事態宣言が解除され、経済活動が再開されつつあることから当グループにおける影響は、第3四半期以降縮小していくものであろうと推測されることから、連結業績予想を作成し公表するものであります。

今後の対応といたしましては、新型コロナウイルスの第2波・第3波等につきましては未だ予断を許さない状況であります。グループ各社の協力のもと運営体制の効率化および安定化施策を実施し、また2020年中に竣工・稼働予定の株式会社アサヒL&Cの第2工場による外販事業の拡大も見込まれ、2021年3月期以降に向けて着実に事業が推移するものと判断しております。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後、今期の業績予想に関し開示すべき重要な事象等が生じた場合には速やかに公表いたします。

以 上